

R4年度 9月 たんぽぽ組ドキュメンテーション『友達との関わりのはじめ』

Aちゃんは最近、友達の姿に興味を持ち始めている。



この日は、友達（B君）の姿を見つけると、
Aちゃんは自らずりばいでB君に近づいて行った。
また、B君がAちゃんに笑いかけると、Aちゃんも一緒に笑う姿が見られた。

☆考察☆

0歳児は、まだ他の子と多く関わりを持つ時期ではないが、ずりばいやハイハイなどの移動運動が活発になると、視野が広がり、周りにいる子の存在を認識し始める。

子どもが同年齢の友達と関わることは、人とともに過ごす楽しさを知るためにとても大切なことである。保育士は、このような日々の姿を見守ると同時に、「〇〇くんが来たね」と言葉で友達の存在を知らせることや、楽しく一緒に遊べるように仲立ちすることを心掛けている。